

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	53	事業名	事業再構築支援事業			戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会		
担当部名	事業振興部	担当課名	経営支援課	担当課長名	佐藤大輔	施策コード	3	施策名	新たな可能性にチャレンジする創業・新分野進出の推進		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

ポストコロナ時代を見据え、経営の多角化や新分野進出、経営革新など、小規模事業者の思い切った事業の見直しや再構築が叫ばれている。

2. 事業のねらい

ポストコロナ時代を見据えた事業の再構築等の支援を推進するため、先進事例の収集と提供を通じ事業者の意識を啓発するとともに、「経営アシスト会議」を活用し商工会職員のサポートを図る。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	-	H30	-	R1	-	R2	-
-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

今年度より実施

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

今年度より実施

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
123	事業再構築補助金計画書フォーマットの作成	高度な内容が求められる事業再構築補助金計画書のフォーマットを作成し提供を行った。	a	a	a	A

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	取組コード					取組コード	取組コード					取組コード	取組コード				
指標名	指標名					指標名	指標名					指標名	指標名				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈評価の理由〉

事業の見直しや再構築といった支援の推進という課題に対して、計画書フォーマットを作成し事業再構築補助金の申請につながったことから、事業の必要性は高い。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

計画書フォーマット提供等により事業再構築支援を推進した結果、補助金申請が35件にのぼったことから、事業の有効性は高い。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

組織内で情報収集を行い、計画書フォーマットを作成したことから、特別なコストが掛かることも無く実施できた。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A

計画書フォーマットの提供により事業再構築を後押しするための補助金活用が進んだことから、初年度の取組としては一定の成果を上げたといえる。また、地域戦略課と連携のもと全県の情報収集を行い、タイムリーに指導助言を行えたことも補助金活用を後押しした。

3. 課題

事業再構築に向けた取組も含め、挑戦する企業の革新的な取組に対するより一層の支援が求められている。

4. 今後の対応方針(改善点)

全国の模範事例などを分析して、標準支援モデルを盛り込んだ手引きの作成を行い、商工会が行う戦略的支援を推進することで、経営革新や事業再構築などの取組に挑戦しやすい環境を整備する。